

ホスピ通信

2026 July. vol.1

このホスピ通信では、ホスピタリティ・マネジメント学科のカリキュラムの柱の一つである 3 ヶ月間のインターンシップの様子を毎回お伝えしています。熊本駅前の ONE STATION HOTEL からは研修中の様子や感想、ユナイテッドトヨタ熊本と JAL スカイ九州からは、それに加え、高校生の方へのメッセージも寄せてもらいました。

One Station Hotel



3 年 平田 愛夢

今回、3 か月間のインターンシップに参加し、レストラン業務と客室業務の両方を体験して分かったことは、ホテルマンの仕事には、お客様へのおもてなしの気持ちであるホスピタリティがあふれているということです。

レストランでは、お客様一人ひとりに合わせた丁寧な接客や、料理をスムーズに提供するためにスタッフ同士が常に声を掛け合い、連携しながら業務を行っていることを学びました。また、お客様の様子を見ながら料理を提供するタイミングを考えたり、困っているお客様にはすぐに声を掛けたりする姿を見て、周囲をよく見て行動することの大切さを実感しました。

客室では、普段ホテルを利用する側では気づかないような細かな部分まで気を配り、シーツやタオルは汚れがないものを使用するなど、お客様が快適に過ごせる空間づくりが徹底されていることを学びました。また、お客様の忘れ物は貴重品だけでなく、レシートや飲み物なども一定期間保管されており、いつでもお客様から問い合わせがあっても対応できるよう徹底した管理が行われていることを知り、とても驚きました。このような見えない部分にも、お客様を第一に考える姿勢が表れていると感じました。

実際に働くことで、ホテルはフロントやレストラン、客室など多くのスタッフが互いに協力し、それぞれの役割を果たすことで成り立っていることを改めて実感しました。また、今回の経験を通して、相手の立場に立って考えることや、周囲を見て自ら行動することの大切さを学び、気配りやコミュニケーション能力をさらに高めることができたと感じています。この 3 か月間で得た経験を今後の学校生活や就職活動、そして社会人になってからも活かしていきたいです。

3 年 プン ダヤ

日本のサービス産業における実践的な現場を理解し、接客や業務のスキルを高めることを目的に、3 ヶ月間の長期インターンシップで One Station Hotel Kumamoto に参加いたしました。4 月 14 日から 5 月 31 日までの 28

日間、ホテルのレストランで、ビュッフェの準備や片付け、飲み物の用意、お客様の席へのご案内などを担当しました。ある日のランチの時間、最初は予約が少なく暇かなと思っていましたが、途中から急にたくさんのお客様が入ってきて満席になり、本当に忙しくてびっくりしましたが、焦らないように気をつけて、先輩スタッフと一緒に一生懸命お皿の片付けや案内をしました。この経験で、忙しい時でも落ち着いて目の前の仕事をする大切さを学びました。

また、接客中にお客様から「どこから来たの」と言われて楽しくおしゃべりをしたり、「留学生の生活は大変だと思うけど頑張ってるね」と言われ、とても心が温かくなりました。小さな子供が来た時も、笑顔で手を振ったらすぐ喜んでくれて、お客様を笑顔にすることもこの仕事の楽しいところだと感じました。

その後、6月1日から7月9日までの20日間は客室整備の仕事をしています。この仕事では、時間の中で部屋を綺麗に仕上げるプロの責任感を学びました。特にシーツメイクは、最初はシーツの張り方や角の入れ方が難しく上手くいけませんでしたが、社員の皆さんがいつも優しく丁寧にやり方を教えてくれました。諦めずに何度も練習した結果、最後にとても綺麗にできているねと褒めてもらうことができ嬉しかったです。部屋の掃除だけでなく、誕生日のプロモーションの飾り付けの手伝いもしました。平田さんが折り紙で綺麗な着物や富士山、鶴を折って、私はその周りにシールを貼ってバースデーカードを華やかに仕上げました。ただ部屋を掃除するだけでなく、チームで協力してお客様に喜んでもらうために工夫するおもてなしの心を学ぶことができました。

この3ヶ月間の長期インターンシップ全体を通して、ただ言われた仕事をするだけでなく、周りの状況をよく見て、次に自分が何をすべきかを自分で考えて自発的に動く力が身についたと思います。レストランが急に忙しくなった時や、客室でのお祝いの飾り付けなど、実際の現場だからこそたくさんの気づきがありました。また、自分が笑顔で対応することで、大人から子供まで喜んでくれる姿を見たり、チームで協力してお客様の大切な日をお祝いできたことで、ホテルやレストランの仕事の本当のやりがいを知ることができました。授業で学んだことを活かして挑戦したこの研修は、私にとって大きな学びになりました。お世話になった社員の皆さんや、温かく教えてくださった先輩方への感謝の気持ちを忘れず、研修中に褒められて自信がついたことを、これからの大学生活や将来の仕事にしっかり活かしていきたいです。

UNITED TOYOTA KUMAMOTO



①



②

3年 澤田 来望

私は約3か月間、ユナイテッドトヨタ熊本でインターンシップを行い、AS(アシスタントスタッフ)業務と営業業務を体験しました。最初は、実際の職場で働くことに緊張や不安があり、「自分ができるだろうか」と心配していました。しかし、社員の皆さんが優しく丁寧にご指導くださったおかげで、少しずつ仕事を覚え、自信を持って業務に取り組めるようになりました。AS業務では、店舗で販売されている「bau」の商品をPRする壁画制作を担当しました。お客様に商品の魅力が伝わるよう、見やすさや季節感意識しながら制作しました。(写真①)

完成した壁画が実際に店舗へ飾られ、お客様に見ていただいている様子を見たときは、大きな達成感を感じました。また、受付前に飾る梅雨をテーマにした壁画作成にも携わりました。(写真②) 来店されたお客様に季節を感じてもらえるよう工夫しながら制作しました。壁画制作を通して、お客様に心地よく過ごしていただくための店舗づくりの大切さを学びました。そのほかにも、電話応対や来店されたお客様への呈茶、受注明細表や伝票の仕分け・記入、見積書の作成、ご来店されたお客様のご案内やご用命を伺い整備スタッフへ連絡する業務など、さまざまな仕事を体験しました。一つひとつの仕事は目立つものではありませんが、お客様が安心して店舗を利用するためには欠かせない大切な業務です。特に電話応対やお客様対応では、インターンシップ生ではなくユニテッドトヨタ熊本の一員として見られることを実感し、責任感を持って行動することの大切さを学びました。

営業業務では、お客様とのコミュニケーションの大切さや、自動車販売の現場で求められる接客力について学ぶことができました。営業スタッフの方がお客様一人ひとりに寄り添い、信頼関係を築きながら接客されている姿がとても印象に残っています。商品を販売するだけでなく、お客様が安心して長く利用できるように丁寧な対応を積み重ねている姿を見て、人との信頼関係が仕事の基盤であることを実感しました。

今回のインターンシップを通して、実際の職場を経験したことで、自分がどのような仕事に興味を持ち、どのような職種に向いているかを改めて考える良い機会となりました。また、大学で学んでいる接遇やビジネスマナーを実際の現場で生かし、自分自身の成長につながる貴重な経験になったと感じています。

高校生の皆さんの中には、「大学ではどんなことを学ぶのだろう」「将来やりたい仕事はまだ決まっていない」という人もいると思います。私自身も入学当初は将来について具体的なイメージを持てていませんでした。しかし、大学での学びやインターンシップを通して、実際に職場へ行ってみると、新しい発見や学びがたくさんあり、自分では気付かなかった強みを見つけることもできます。インターンシップは仕事内容を知るだけでなく、自分自身を成長させ、将来について考えることができる貴重な体験です。熊本学園大学では、このように実際の企業で学ぶ機会が多くあります。ぜひ大学生活では様々なことに挑戦し、多くの経験を積みながら自分らしい将来を見つけてください。皆さんが充実した大学生活を送り、自分の夢に向かって一歩ずつ成長していくことを応援しています。

JAL スカイ九州 熊本空港所



3年 高木 愛望

JAL スカイ九州でのインターンシップを通して学んだことは、グランドスタッフの方がどのように毎日お客さまと向き合い、仕事をされているのかに気づけたことです。インターンシップ生の研修内容としては、自動チェックイン機の補助、お客さまのお荷物の梱包など、困っているお客さまへのお声掛けなどがあります。そのようなお客様の困りごとを自分で見つけ、積極的に対応を行ってきました。その他にも、ゲート業務ではお客さまを探したり、小さなお子さま連れのお客さまを探したりと、飛行機が定刻に飛べようとお声掛けを行いました。到着ロビーでは、

アナウンスもさせていただきました。アナウンスは、お客さまが聞き取りやすいような声や、トーン、抑揚の付け方など、とても難しかったです。お客さまが聞いていて心地よい声を見つけるまでに、とても時間がかかりました。

また、飛行機のお掃除にも行きました。機内のお掃除は、ポケットにゴミが入っていないか、パンフレットがきちんと並べてあるか、シートベルトをきちんと整えるなど、みなさんが見えていないところまで、お客さまが快適に過ごせるようになっていました。みなさんが思う航空業界は、キラキラした華やかなイメージだと思いますが、裏側では、体力もとても必要な仕事で、お客様を不快にさせないよう努力していました。そして、一つ一つ責任があるお仕事だと気づきました。飛行機を定刻に飛ばずことや、安全を確保すること、お客さまの不安を解消することなど、常にお客さまを考え、チームで動くことの素晴らしさを、実際に行って感じることができました。

私がインターンシップで心がけていたことは、積極的に行動することです。できることが少ない分、先輩方に沢山質問し、できることを増やし、できるようになったことは、自ら動いてすることを意識していました。しかし、責任も伴ってくるので、責任感を常に持ちながら、周りを見て、自分に何ができるのかを考え行動していました。初めの頃は、何をしたらいいかわからず困っていた時期もありました。しかし、先輩方に教えていただき、理解できたことをその場で積極的に動くことで、先輩方からお褒めの言葉をいただくことも多く、行動してよかったと思える瞬間が、後半になるにつれ増えてきました。それが自分自身の自信にも繋がりましたし、頑張ってた良かったなど思える瞬間でもありました。インターンシップに行ってから、自分自身とても変わりました。アルバイト先でも、お客さまが今どのようにされているのかを観察し、できることがあれば自分から積極的に行動し、挨拶をするようになりました。自分の成長を感じることができました。

ホスピタリティ・マネジメント学科の3ヶ月の長期インターンシップは、自分自身の成長を感じ、興味のある仕事かどのような仕事なのかを理解することができる、貴重な体験ができるものです。他にも様々な業界のインターンシップに行くこともできます。他学科には、3ヶ月のインターンシップは、どこにもありません。現場で体験をし、講義で学んだことを存分に活かせる、とても貴重な体験をさせてもらえます。そして、自分自身が成長できる場ですし、社会人の第1歩を味わうことができます。ホスピタリティ・マネジメント学科に進学を考えている方は、ぜひ3ヶ月の長期インターンシップに行ってもらいたいと思います。

2026 年度 長期インターンシップ 派遣提携先 一覧

熊本ホテルキャッスル	西鉄旅行	熊本国際観光コンベンション協会
ホテル日航熊本	日専連ツアーズ	熊本市国際交流振興事業団
ONE STATION HOTEL KUMAMOTO	JAL スカイ九州 熊本空港所	九州産交ランドマーク
旅亭 松屋本館 Suizenji	ユナイテッドトヨタ熊本	熊本機能病院
ホテルヴェルデ	RKK メディアプランニング	福田病院
ヒルトン福岡シーホーク	談	済生会みすみ病院
西鉄ホテルズ	総合企画	大学堂薬局 藤崎宮前支店
ホテル竜宮	熊本県観光文化部観光振興課	セルモ
JR 九州ホテルズアンドリゾーツ	熊本県観光連盟	フェリシア
共立メンテナンス	宇土市民会館	マリエール神水苑

お問い合わせ先 〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 Tel (096) 364-5161 (代表)
熊本学園大学商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 編集担当：土井文博（教授：社会学）